

三河商人道

PART
131

東海信和システム合名会社
代表取締役 杉浦 雅紀 君



青年部は、仕事と遊びの勉強場



青年部は「仕事と遊びの勉強場」と語る杉浦雅紀さん。青年部の仲間との繋がりを通し、仕事へ、遊びへ、多くを学んだと、楽しく過ごした18年間を語っていただきました。

東海信和システム合名会社の代表社員をされる杉浦さんの仕事は、業務用無線機の免許申請、販売、取付設置工事等がされています。通信範囲が、300mのトランシーバータイプの商品から半径5km程度の無線機、MCAタイプとして北海道～沖縄迄を通信可能にする全国タイプの商品まで多種多用の通信機器を扱っていらっしゃいます。更にはNTTの公衆回線網と接続して無線機でありながら一般電話回線、携帯電話とも通信可能なシステム構築も可能とのこと。又、高騒音下（100db以上）でも使用可能な機種、9人同時通話（会議通話）の出来る機種などで無線通信の現場を支えていらっしゃいます。

一時期は、携帯電話の急速な普及の煽りを受け無線機業界も不遇の時代を迎えたようですが、今では緊急、災害時の携帯電話とは比べものにならない確実な通信性、利便性が見直されB.C.P（緊急、災害時の事業継続計画）用として各企業、自治体に急速に普及しているとの事です。

入会のきっかけは、32歳の時、名古屋の会社での修業を終え、自社に入社したことをきっかけに、先代が商工会議所職員の方と知り合いだったこともあり、その紹介で入会されたそうです。

青年部活動中は、特に理事会構成メンバーに入ることもなく、青経連及び県連へ各1回ずつ出向、幹事を2度経験されました。とにかく人と人との繋がりを大切に、入会していなかったら出会わなかった人々との交友関係が築けたとの事。人と会うことが大好きな杉浦さんは、委員会、例会後の懇親会はもちろん、毎年各地で行われる全国大会には鹿児島大会以降はほぼ全て参加したんじゃないのかな？」と話してくれました。当然、お酒の場も多いだけに失敗談も沢山あるようですが、ここには残念ながら書けません。（笑）

取材には、マスコットのピングーちゃん（インコ）も参加し、終始なごやかな雰囲気の中でお話を聞かせていただきました。YEGメンバーとの思い出話がいつまでも尽きず、時間切れで取材終了。取材チームとの共通の思い出、話題も豊富にあり「青年部は、とにかく全てが楽しかった」と締めくくっていただきました。



取り扱ってられる無線機器の数々



マスコットのインコも取材に参加



取材スタッフと一緒に記念撮影



取材担当/
情報発信委員会
稲吉稔彦・高原裕治